

様式 F - 7 - 2

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	3 2 6 0 4
研究 代表者	部局	社会情報学部		
	職	准教授		
	氏名	荒川 潔		

1. 研究種目名 基盤研究(C) (一般) 2. 課題番号 15K03453

3. 研究課題名 移行期における次世代自動車の開発と普及のための税制と規格, 規制の理論・実証分析

4. 補助事業期間 平成27年度～平成30年度

## 5. 研究実績の概要

本研究の目的は、移行期における次世代自動車の開発と普及を図るための効果的な税制と規格、規制とは何かを解明することである。具体的には、効果的な普及政策の提言に寄与する経済理論の構築とともに、普及政策の効果と技術の移行経路の有効性を実証的に分析する。

2018年度は、消費者の車種選択と自動車税制について、海外を事例とした研究との比較により日本の自動車市場の特徴を明らかにする作業を行った。社会・技術的移行の理論をもとに、各国の自動車税制の相違が政治や産業、文化などの様々な要因によって生じることを明らかにした。また、世界的に次世代自動車の普及政策における規制と財政的インセンティブのバランスが変化していることを明らかにするとともに、各国の技術革新を促す政策にも多くの相違があることを示した、さらに、中国の次世代自動車に対する政策の特徴を明らかにした。実証研究では、2016年の自動車関連データの入力作業を行い、2006年から2016年までのデータベースを構築した。自動車税制や規格の変遷に関する資料と実証研究で用いるデータの収集を行った。そのデータをもとに、Berry et al. (1994)のランダム係数ロジットモデルを用いて、2006年から2016年までの日本の自動車市場における車種選択を分析した。現在、以上の研究成果をまとめた論文を作成しており、学術雑誌への投稿とともに、学会での報告を計画している。

## 6. キーワード

自動車税制 次世代自動車

## 7. 研究発表

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

## 8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

## 9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

## 10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

## 11. 備考

-